

記入例
青字：記入箇所

提出窓口・郵送先・お問い合わせ先
【住所】〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
長野市役所 第二庁舎7階
建築指導課 空き家対策室
【電話】026-224-8901

様式第2号（第7関係）

令和〇年〇月〇日

（宛先）長野市長

〒 380-8512
申請者 住所 長野市大字鶴賀緑町1613番地
（フリガナ） ナガノ ケンチク
氏名 長野 建築
連絡先（電話） 026-224-8901

長野市老朽危険空き家解体事業補助金交付申請書

長野市空き家解体・利活用事業補助金交付要綱第7の規定により、次のとおり関係書類を添え、申請します。

老朽危険空き家の所在地	長野市 居町〇〇番地〇
老朽危険空き家の形態	戸建住宅 ・ 併用住宅 ・ 長屋建住宅
補助金交付申請額	¥1,200,000 円
解体工事施工者	所在地 長野市大字南長野南郷町〇〇〇番地〇〇 商号又は名称 株式会社 長野空家解体建設 電話番号 026-〇〇〇-〇〇〇〇 建設業許可 <input checked="" type="checkbox"/> 大臣 <input type="checkbox"/> 知事 第〇〇〇〇〇号 解体工事業登録 _____知事 _____号
解体工事予定期間	令和〇年〇月〇日から令和〇年〇月〇日まで

添付書類

- 1 位置図
- 2 老朽危険空き家・空き家の使用状況報告書（様式第4号）
- 3 建物の全部事項証明書
- 4 解体工事の見積書の写し
- 5 所得証明書
- 6 市税の滞納がない証明書
- 7 誓約書（様式第5号）
- 8 老朽危険空き家の共有者又は相続人の同意書（様式第6号）
- 9 相続関係を説明した図
- 10 老朽危険空き家の確認申請図面
- 11 長野市老朽危険空き家解体事業補助金交付申請額算出の基礎票
- 12 その他市長が必要と認める書類

窓口に提出する日付を記入
※郵送は投函する日付を記入

申請者の郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入
※電話番号は日中に連絡がとれるものを記入（携帯電話番号など）
※別紙「補助金交付要件確認表」で申請者の要件を満たしているか確認してください。

老朽危険空き家の所在地を記入
※地名、地番を記入

老朽危険空き家の形態を〇で囲む

補助金交付申請額を記入
※【交付申請額算出の基礎票】で算出した一番下の【F】の額を記入
※金額の前に¥マークを記入

解体工事業者の所在地、商号・名称、電話番号、建設業の許可番号又は解体工事業の登録番号を記入

解体工事予定期間を記入
※解体工事の契約予定日から工事完了予定日を記入

添付書類
※1の位置図は、老朽危険空き家の位置がわかるもの
※3の建物の全部事項証明書は、法務局で取得（全国どこの法務局でも可。未登録の場合は固定資産税納税通知書の写し等、建物の所有権を有する者が確認できる書類を提出）
※4の解体工事の見積書の写しは、P2「(5)見積書の写し」欄の注意事項を確認して下さい。
※5の市税の滞納がない証明書は、長野市役所収納課、市民窓口課、各支所で取得してください。（本市から滞納がない証明書が発行されない場合は建築指導課までご連絡ください。）
※6の所得証明書は、お住まいの市区町村の担当部署（長野市は市民税課）で取得してください。
※10の老朽危険空き家の確認申請図面は、確認申請の副本に添付されている配置図、延べ面積が確認できる図面の写しを提出してください。（現況と異なる場合や確認申請が無い場合は建築指導課までご連絡ください。）

その他の注意事項

- ※ 申請者の他に老朽危険空き家の共有者がいる場合
・8の老朽危険空き家の全ての共有者の同意書（様式第6号）と別紙「様式第6号の記入例」に記載された書類を添付してください。
- ※ 申請者の他に老朽危険空き家の相続人がいる場合
・8の老朽危険空き家の全ての相続人の同意書（様式第6号）と別紙「様式第6号の記入例」に記載された書類を添付してください。
・9の相続関係説明図（別紙「相続関係図の記入例」参照。）
- ※ 代理受領制度を活用する場合
・代理受領事前届出書（制度の詳細については、長野市建築指導課までご連絡ください。）